

東京都病院協会会報

Alico アリコジャパン
アメリカン ライフ インシュアランス カンパニー

東京都病院協会
医療共済制度 引受保険会社

東京都墨田区錦糸1-2-4 アルカウエスト18F
アリコ ジャパン 全国法人開発部
TEL(03)5619-3827

発行所：一般社団法人東京都病院協会 / 発行人：河北博文 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館内306号
TEL:03-5217-0896 / FAX:03-5217-0898 / URL：http://www.tmha.net / E-mail：tmha@mri.biglobe.ne.jp

2010年(平成22年)9月24日

第161号

毎月1回 定価 200円(会員購読料は会費含む)

平成二十三年二月二十日(日)開催 第六回東京都病院学会の プログラム固まる

多勢の参加者を！

当協会の設立目的は、「この法人は、

都民の保健・医療・福祉に寄与することとを目的とし、都内に存在する全ての病院等が高い倫理観のもとに一致協力して、医療の質の向上と健全経営に関する諸般の問題を調査研究し、病院等の組織・医療の充実及び発展を図り経営の安定化に資するものとする」と謳っております。



その最大の催物が年一回開催される「東京都病院学会」です。今回で六回目となり、本年度の主題は「医療現場は護られているか」働きやすい職場を創るために（学会長中西泉 町田慶泉病院理事長）です。昨年は、これまで

本学会の概要

学会主題

「医療現場は護られているか」
働きやすい職場を創るために

最大の参加者を期待してあります。

学会長 中西泉(東京都病院協会常任理事 町田慶泉病院理事長)
開催日時平成二十三年二月二十日(日)
午前九時～午後五時三十分
会場 東医健保会館
(JR信濃町駅 徒歩五分)
学会長講演
働きやすい職場を創るための
自助努力」

基調講演
学会長 中西泉
「どこまで患者によろこばれる
病院になれるか」
株式会社ドリームインキュベータ
代表取締役会長 堀 紘一氏
後援 (社)東京都医師会・東京都



堀 紘一氏
出演など
知って
出演など
知って

基調講演は、病院以外の一般の会社経営に詳しい演者をという中西会長の強い要望があり、今回の学会には、日本の経営コンサルタントの第一人者である、堀紘一氏をお迎えすることが出来ました。堀紘一氏については、ビジネスマン向けの多数の著書やテレビ

いる方も多いと思いますが、簡単にプロフィールを紹介いたします。
昭和四十二年メリーランド州立大学留学
昭和四十四年 東京大学法文学部卒業後
読売新聞社(経済部記者)
昭和四十八年三菱商事入社
昭和五十五年ハーバード大学経営大学院にて、経営学修士(MBA)取得
昭和五十六年 ポストコンサルティンググループ
平成 元年 同社代表取締役社長に就任
平成十二年ドリームインキュベータ設立
平成十八年 同社代表取締役会長に就任
株式会社ドリームインキュベータは、東京都目黒区に本社を置き、大企業のコンサルティング、ベンチャー企業のインキュベーション及び自己資金のインベストメント業務を実施している戦略コンサルティングファームです。

「仲間を護り、働きやすい職場」とは、どの産業も、そこに働く人々を護り、育成していくことこそ、その産業の展望があります。医療も例外ではありません。しかし、医療現場の実状は、医師や看護師不足に悩み、看護職や介護職の離職率の高さの混乱を来し、決して

「どの産業も、そこに働く人々を護り、育成していくことこそ、その産業の展望があります。医療も例外ではありません。しかし、医療現場の実状は、医師や看護師不足に悩み、看護職や介護職の離職率の高さの混乱を来し、決して

お話を伺えるものと期待しております。
病院現場の
本音を聞くシンポジウム

シンポジウムは、木村厚(一成会木村病院理事長)を座長に、シンポジストとして、医療現場の第一線で働く長谷川修氏(平成立石病院院長)、篠原伸次氏(町田慶泉病院事務部長)、松田厚恵氏(いずみ記念病院理事)、原澤秀樹氏(永寿総合病院薬剤部長)、伊藤雅史(等潤病院理事長)の五名に出演いただき、主題「働きやすい職場を創るために」にそって、各病院の取り組みを話していただけるものと期待しております。

第6回東京都病院学会 抄録広告掲載のお願い

平素は、当協会の活動にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、恒例となりました、「第6回東京都病院学会(学会長中西泉)」を平成23年2月20日(日)に東医健保会館で開催する運びとなりました。つきましては、何かと厳しい社会情勢ではございますが、開催主旨にご賛同を賜り、下記の要領で本学会抄録に是非とも貴社の広告出稿をお願い申し上げます。

広告出稿について
(1) 学会参加者数 目標500名
(2) 抄録集発行部数 2000部
(3) 掲載広告のサイズと広告費
A4版 1頁(サイズ:250×185mm) 50,000円
1/2頁(サイズ:125×185mm) 30,000円
募集期間
平成22年9月～平成22年11月30日
お問い合わせ
東京都病院学会事務局までお問い合わせ下さい。
TEL:03-5217-0896

言いがたい中で、働きやすい職場を創るために各病院がどのような取り組み

をし、効果をあげているのか実のあるシンポジウムになるものと思います。

第五回東京都病院学会に参加 「終末期患者の看護」の発表を通して

いずみ記念病院 看護師 滝 祐美氏

当院の一般病棟は、四十九床で、内科・外科・整形外科などの混合病棟である。

従来、患者ケアに関しては、スタッフ間で話し合う機会が限られていた。そのため、患者との信頼関係作りやケアの内容については、個々で対応してしまうことが多かった。発表した事例は、四十代後半の癌の終末期患者であった。入院後一ヶ月経過した頃より、保清やバイタル測定などのケアの介入

を拒むようになった。私たち看護スタッフは壮年期の終末期患者への対応に悩んだ。患者からの拒否が続いたため、ケアの介入を深くする事ができないまま、患者は逝去された。個別性を持ったよりよい看護を提供しなければならぬとの思いから、課題を明確にすることを目的としての発表だった。課題として挙げられたのが、スタッフ間の情報共有を基盤とした患者・家族との信頼関係の構築と、患者へのケ

アの統一であった。本事例の結果などから、より深く患者・家族と関われるようにするため(一)固定チーム制と(二)プライマリ制を導入した。情報共有・ケアの統一のために(三)チーム間でのショートカンファレンスを毎日実施するようになった。参加できなかったスタッフも情報共有ができるようにチームノートを作成し活用した。患者の情報共有が徹底されたことで、ケアの統一が図れ、患者・家族との信頼関係も築きやすくなったと思われた。また、ケアの内容や関わり方で課題が出現してもカンファレンスで話し合うことができ、個人の負担も軽減したと感じられた。

学会発表を通して、個人の課題や反省にとどまってしまう可能性がある問題も、病棟全体の課題として認識する事ができた。また、看護体制の見直しやカンファレンスの導入などの業務改善へとつなげることができたと考える。一般的に患者ニーズが多様化していくと考えられる中、職種に限らずチーム医療を行っていくことが求められる。当病棟でも、医師・リハビリ部門・MSWとの定期的なカンファレンスを行っているが、今後は範囲を拡大し、内容をより充実させることが課題となる。

当院で発表する内容は、より良い病院作りのための取り組みが中心となっている。学会に参加することで他部署の取り組みを互いに知ることができるとも良い経験となり自己の向上につながった。これからも、看護師として感性を磨き、よりよい看護が行えるように努めていきたい。

一般演題(口演)・ポスター募集のご案内

1. 応募条件

発表資格者：一般社団法人東京都病院協会会員病院に勤務する者
下記の部門別のテーマであること

「病院管理」「医師部門」「看護部門」(1.看護総合、2.急性期看護、3.慢性期看護、4.医療安全・感染管理、5.看護技術・教育)「薬剤部門」「画像診断・放射線部門」「臨床検査部門」「栄養管理部門」「リハビリテーション部門」「臨床工学部門」「事務部門」「地域連携部門」「院内暴力対策」「病院における環境への取組み」全13部門

採否

演題の採用については、学会運営委員会で決めさせていただきます。後日連絡致します。採用された方には、抄録の準備をお願いします。

演題総数

一般演題60演題、ポスター発表55演題で最大で115演題の登録が可能です。

2. 申し込み方法

演題発表の希望者は、所定の「演題申込書」に必要事項を記入の上、平成22年10月29日(金)までにFAXまたはE-mailにてお申し込み下さい。

3. 採否決定通知

11月中旬までにご連絡致します。

4. 発表方法と発表時間

一般演題発表について

発表方法

全てパワーポイントでの発表になります。スライド、OHP等は使用出来ません。

発表時間

1題6分間を予定しております。(質疑応答は発表終了後3分間)

ポスター発表について

発表方法

演題ごとに演題番号をつけたパネル(90cm x 160cm)を用意致します。資料はパワーポイントで作成し、パネルの規格に従って発表するポスターを作製して下さい。

最初の資料には「演題名」「所属名」「演者名」を必ず記載して下さい。

発表時間

1題5分間を予定しております。(質疑応答は発表終了後1分間)

5. 抄録原稿の提出

演題発表者は、抄録原稿の提出が必要です。

提出期限は、平成22年12月17日(金)です。

6. 事前登録参加費：1名様 4,000円(但し、理事長・院長は14,000円)

当日受付参加費：1名様 5,000円(但し、理事長・院長は15,000円)

その他、不明な点がありましたら、東京都病院協会事務局までご一報下さい。

電話：03-5217-0896 FAX：03-5217-0898

URL：http://www.tmha.net/ E-mail：gaktmha@xqb.biglobe.ne.jp

退職金制度見直しをご検討中の協会員病院のご担当者様へ

損保ジャングループが、貴病院の確定拠出年金導入を全面的にお手伝いします。

導入から運営まで
1社でサポート

導入
サポート

運用関連
業務

記録関連
業務

投資
教育

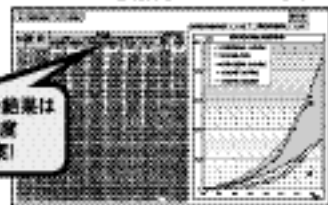
制度設計
労使協議

商品選定
情報提供

口座管理
システム運営

加入者
教育

まずは、退職金の現状をお聞かせ下さい。シミュレーションを無料でいたします。



シミュレーション結果はビジュアルな制度設計書でご提案!

企業型DC 運営管理機関：損保ジャパンDC証券株式会社
再委託先運営管理機関：株式会社損害保険ジャパン

株式会社 損害保険ジャパン

お問い合わせ先
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

東京公務開発部 担当：横田 TEL:03(3349)6021

*当社は東京都病院協会の賛助会員です。

平成二十三年度 東京都予算等に関する 要望について

総務委員会

はじめに

当協会の平成二十三年度東京都に対する予算要望は、平成二十二年七月二十八日に東京都医師会との検討会を行い、東京都医師会の要望書に反映されて、八月末の都理医学会を経て、東京都に提出されました。

都に提出された要望書に対する都議会各党とのヒアリングは、平成二十二年九月に都議会自民党、民主党、公明党の三党と行われました。

当協会からの要望には、特に今回は、昨年度の要望書に加えて、これまで当協会が独自に実施してきた「都議会民主主義議員との勉強会(通算四回開催)」や「会員病院による地区懇談会(平成二十二年八月現在、通算八回開催)」等の議論を踏まえた要望書となりました。以下、要点のみ報告致します。

東京都病院協会 予算要望書の概要

東京都病院協会は今年度、昨年度の要望に加えて、都議会民主党とのヒアリングおよび勉強会や地域懇談会の中で議論があった、十二項目におよぶ内容を加えて以下の通り新たな要望を行いました。

都議会民主党との勉強会において
提案された新たな要望
(会報第一五〇号参照)

一、東京都入院基本料の創設
東京都の地域格差を考慮した都独自の診療報酬への加算。

民間病院に対する都立病院並みの負担軽減

二、勤務医の外来診療に対する負担軽減のための「地域一般病院(仮称)」の創設

三、医師業務の軽減のための特区申請

四、家庭医育成のシステム構築

五、その他
・院内保育園ではなく地域の保育園の充実
・診療所との連携について

地域懇談会で提案された要望
及び各委員会からの新たな要望

一、都内医療施設に対する教育研修支援事業

(一) 教育研修支援事業
五次医療法の改正では医療安全の確保として「院内感染防止」「医薬品の安全管理」「医療機器の保守点検・

安全使用について」等、病院の体制をより高い水準で確保することが責務となりました。また、都民医療の確保が適正かつ効率的に行われるために、教育研修は重要・必須の手段であると考えております。そこで、都内医療施設に対する教育研修支援事業を強く望むものであります。

(二) 看護師・介護福祉士等の資格取得に係る奨学金制度への補助
看護師はもとより、介護者の質の向上と社会的地位の向上を図るために、資格取得を奨励するための奨学金制度への補助を要望します。

二、診療情報の開示支援事業
医療機関の質の向上を確保するためには、診療情報の適正な管理および必要時に必要な対象に提供されること

が重要であります。
都民に対して、より適切な情報を提供するための以下の研究、推進施策の実践を要望します。

(一) 診療情報の記録様式の標準化
(二) 診療情報の提供体制の構築
(三) 医療機関と都民との情報に関する交流活動

(四) 診療情報の電子化に伴う費用の補助

三、地域連携の構築と地域医療推進支援事業

(一) 東京都の医療連携の構築
行政は機能分化を進めているが、その後の連携に関しては現場任せであるように受け取れる。
地域連携を推進していくためには、

行政と医療者側だけの会議だけでは地域のニーズは吸いあげられないことから、医療について各医療圏の住民が何を求めているかを知るために、行政も交え三者の会議体を医療圏ごとに創設することを要望します。

(二) 東京都地域医療推進事業
急性期から回復期を経て自宅に戻るまで、患者さんが、一貫した治療方針のもとに切れ目ない医療を受けることができるよう、各地域で適切なネットワークが構築できるように以下の研究、推進施策の実践を要望します。

都内で医療・保健・福祉を実践している医療機関やその職員及び医療人、市民により構成する、地域医療連携体制構築のための検討機関の設置

各地域のネットワーク構築のために必要なIT設備導入への補助

四、住民、患者、家族のための教育システムの構築

(一) 患者図書館補助
病気に関する書籍やインターネット環境を整備することにより、患者が自分の病気を調べることができることはインフォームドコンセントの上からも必要と考えます。患者教育にもつながる院内患者図書館の設置に伴う補助を要望します。

五、医療の安全性を確保するための各種事業

(一) 新型インフルエンザ対策
平成二十一年度の新型インフルエンザ流行の反省に立って、ガイドライン等の見直しを要望します。

六、救急医療体制の充実
(一) 受け入れ困難症例に対する一病院当たりの補助金への要望
毎日、受入困難症例を地域で担当するべく医師を確保するが、一医療機関あたり、年間で九百三十三万円ではなく増額を要望します。

(二) 選定困難症例受入に対する助成
根拠…一時預かりにおいては入院扱いとしておらず、外来で、長時間管理が求められる。翌日午前中まで一時受入となつた症例は、入院管理料程度の助成金を要望します。

(三) 東京都の救急医療体制の広報・啓発に対する助成
東京都の救急医療体制の広報・啓発活動を、各地域救急医療センターの任務として、地域で広報活動すべきであり、その広報に助成制度の創設を要望します。一地域救急医療センターに年間百万円程度(総額千四百万円)

(四) 救急相談センターへの医師派遣に対する評価
平成十九年六月一日より東京消防庁救急相談センターの運用が開始されているが、その社会的意義を鑑みてセンターに医師を派遣し、あるいは派遣のための努力をしている病院については、評価および補助金制度の創設を要望します。また、派遣医師の時給が、休日診療所と同等の執務手当を要望します。

(五) 救急医療研修等の充実

救急医療の研修は、講習等よりも臨床実習等の積み重ねによる技術習得の必要性が高い部門であります。特に救急救命士の業務拡大を受け救命士の再教育の実施にあたり、二次救急医療機

看護管理部会研修会のご案内
主題「意欲・実行・解決力を高める
脳と気持ちの整理術を学ぶ」

脳神経外科専門医として多くの診断治療に携わっている北品川病院院長築山節氏(当協会理事)にご講演いただきます。

開催日時:平成22年10月21日(木) 午後2時~午後4時
 会場:東医健保会館2F中ホール
 (JR信濃町駅徒歩5分)

テーマ:「意欲・実行・解決力を高める
 脳と気持ちの整理術を学ぶ」

講師:築山 節氏
 (北品川病院院長 東京都病院協会理事)

会費:会員 3,000円 非会員 6,000円

定員:先着100名
 (定員になり次第締め切らせていただきます)

【連絡・申込み先】東京都病院協会事務局
 TEL:03-5217-0896

関の救急担当医師の研修が重要となっています。

また、平成十三年度より二次救急医療機関の救急担当医師が、三次救急医療機関で実習を行う「救急専門医養成事業」が実施されています。二次救急医療機関の質を確保するためには救急担当医師のスキルアップが急務であります。

「救急専門医養成事業」について、事業内容の一層の充実を図るとともに継続的な実施体制の支援を要望します。

七、慢性期医療体制の充実
 (一)療養病床等での急性期病院から
 症療においてても大病院・職域病院等及び都立病院の協力を明記され、大いに期待されたところですが、制度があつても掛かる運営費補助が無く、さらには必要確保ベッドが常に満床であることなど、現状、何ら進展することなく選定困難事業の一つに上げられています。大半の二次救急医療機関には精神科の標榜が無く、選定困難となつた事業を抱えると、医療従事者側も疲弊度を増すばかりであり、制度改革のみでなく、財政基盤の整備を念頭にした財政処置を要望します。

長年にわたる懸案事項ですが、精神科を標榜する病院は地域的偏在もあり、担当行政はこの問題の解決策を常に制度上の問題として、新たな体制を發表してきています。平成十四年九月、精神科救急医療体制の概要を發表し、その内容は、精神科救急医療情報センターの設置など大変判りやすい制度でした。特に懸案である救急身体・合併

(二)療養病床等における「慢性期救急医療」の創設
 療養病床等が積極的に在宅等の高齢者等を受け入れることで、急性期病院での効果的受け入れを支援することを目的に「慢性期救急医療」の創設と事業助成を要望します。

の患者受入に対応するための補助
 「東京都精神科患者身体合併症医療事業」に準じて、二次救急や三次救急病院から療養病床においても積極的に患者を受け入れることにより、救急病院内での対応がスムーズにいくことが期待される。これらの取組みに対する助成補助を要望します。

(三)介護療養型老人保健施設との連携医療機関への補助
 特に休日・夜間における利用者の急変等に備え、受入体制を整備した連携医療機関に対する補助の新設を要望します。

(四)緩和ケア・認知症ケア医療の拡充
 緩和ケア・認知症ケア医療の拡充を目的とした施設整備・活動補助および運営補助を要望します。

ご存知の通り、当協会の東京都に対する予算要望書は、当協会が東京都医師会に提出後、東京都医師会の要望書に反映されて、東京都から提出されるものです。東京都医師会からの要望事項は、大きく「地域医療システムの総合的な整備の推進」、「生涯にわたる健康維持、増進そして安心できる生活」、「疾病予防対策」、「救急医療」、「慢性期医療と地域ケアの整備の重点五項目」、「その他東

京都及び国への働きかけ」、「これまでの規定事業の二項目を加えたものとなっております。

東京都医師会は多少言葉の違いはありますが、東京都病院協会の要望のほとんどの項目を採用していただきました。また、都議会各党とのヒアリングでは、東京都医師会の鈴木会長より五つの重点項目の概要と患者さんへの医療提供は自宅へ戻るまでの切れ目ない連携が必要であること、患者さんの状態を見据えた機能的な医療提供が重要であることについて説明されました。他には、ワクチン投与を例に自費負担と地区によつては公費負担される地区もあり、同じ都内でも地域による差が生じていることから、同じ医療提供において地域により差が生じることがないようにとの要望を行いました。

河北会長からは、勤務医の過重労働、二次救急の維持の観点からも、早急に東京都独自の診療報酬加算の体系を考へるべきとの要望がなされました。

さらに、具体的に雇用促進のための一案として、若年層を中心に介護従事者、看護補助者、自衛隊員等に労働力を集約する徴用制度を早急に創設すべきとの提案を行いました。

限られた時間での各党とのヒアリングではありましたが、東京都の医療の現状を理解いただき、医療機関及び都民にとってより良い医療提供ができるよう、東京都医師会と連携し、予算要望と各党との接触を継続していく所存です。

東京都医師会は多少言葉の違いはありますが、東京都病院協会の要望のほとんどの項目を採用していただきました。また、都議会各党とのヒアリングでは、東京都医師会の鈴木会長より五つの重点項目の概要と患者さんへの医療提供は自宅へ戻るまでの切れ目ない連携が必要であること、患者さんの状態を見据えた機能的な医療提供が重要であることについて説明されました。他には、ワクチン投与を例に自費負担と地区によつては公費負担される地区もあり、同じ都内でも地域による差が生じていることから、同じ医療提供において地域により差が生じることがないようにとの要望を行いました。

PROUD プラウド市ヶ谷南町

市ヶ谷、飯田橋、神楽坂の交点。
4駅6路線利用可。

■「プラウド市ヶ谷南町」予告物件概要●所在地/東京都新宿区南町12番(雑司)●交通/都営大江戸線「牛込神楽坂」駅徒歩6分、南北線-有楽町線「市ヶ谷」駅徒歩9分、南北線-有楽町線-西武池袋線-都営大江戸線「飯田橋」駅徒歩10分、JR総武線「飯田橋」駅徒歩11分、東西線「神楽坂」駅徒歩11分、JR総武線-都営新宿線「市ヶ谷」駅徒歩14分●用途地域/第1種中高層住居専用地域、準防火地域、第2種高度地区●総戸数/42戸●販売戸数/未定●敷地面積/1,573.77㎡●建築面積/943.76㎡●建築延床面積/4,621.97㎡●構造-規模/RC造地上9階-地下1階●専有部/2LDK~3LDK●専有面積/59.72㎡~87.35㎡●予定販売価格/未定●管理費等/未定●建築確認番号/第122特及協会00024号(平成22年4月22日付)●管理形態/区分所有者全員により管理組合を構成していただき、運営・管理業務は野村リビングサポート株式会社に委託予定●分譲後の敷地の権利形態/専有面積割合による所有権の共有●売主/野村不動産株式会社 国土交通大臣(11)第1370号(社)不動産協会会員(社)首都圏不動産公正取引協議会加盟 本社/〒163-0566 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル●設計-施工/野村建設工業株式会社●設計/株式会社秀建築研究所●建築竣工予定時期/平成23年8月下旬●入居予定時期/平成23年9月下旬●販売予定時期/平成22年10月下旬●販売戸数につきましては本広告発表時点で表示させていただきます。●本広告に掲載の完成予想図は計画段階の図面を基に描いたもので、実際とは多少異なります。また外観の設備機器等につきましては、表現上省略しています。尚、掲載は特定の季節を示すものではなく、竣工時には完成予想図程度には成長しております。

予告 広告

0120-004-373

www.p-minami.jp

野村不動産